

造園



街づくりに関わる造園技術、身近な自然を創造する

人間の生活の中で、庭は身近に触れることのできる自然です。造園は、庭づくりはもとより公園緑地や街並みを計画し、快適な住環境をつくることも重要な仕事です。造園作業は、設計、庭の下準備、石組や植栽、細部の仕上げなど見る人が心とむ、より自然に近い景観になるように工夫を凝らします。そのため、樹木や石に関する深い知識及び空間構成力やデザインセンス、それらを表現するための施工技術まで、さまざまな要素が必要とされます。

競技概要 競技時間 9時間(1日目6時間/2日目3時間)

今回の作業は1人作業で、同じ支給材料を使い、幅3.5m×奥行2.5mの区画内に自由な発想で庭をつくり、技とデザイン力を競います。庭園テーマは「人と庭の暮らし2023」と設定されています。



第31回 金賞作品

Point



技の数だけ庭がある。同じ支給材料を使っても、出来上がる庭はひとつとして同じものではありません。作品ごとに異なる材料の活かし方や、多彩な造園技法は競技のポイントであり見どころのひとつです。また創造性、デザイン性ととともに、テーマやコンセプトが的確に庭に表現されているかも競技のポイントになっています。

前回大会 金メダリストからメッセージ!

自分が作ったものを残せるってことは、すごい良い仕事でもあるな
と思っているので、興味があればぜひ、やってみたらと思います!

紅陵造園(株)
山宮 衛 さん